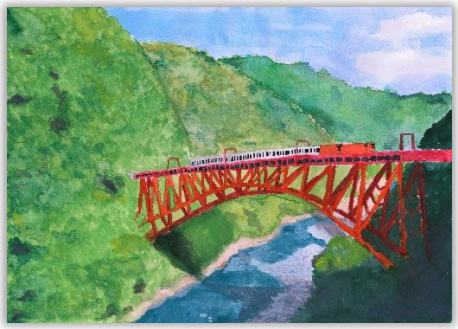
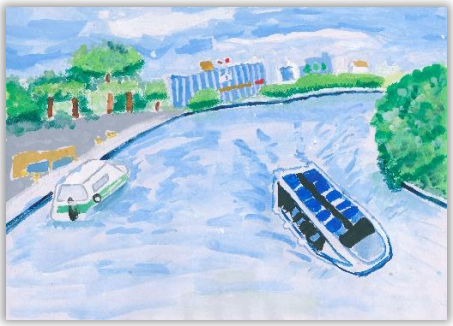
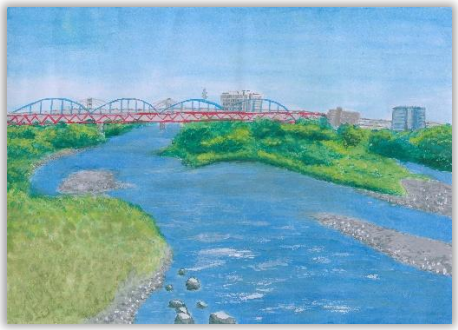
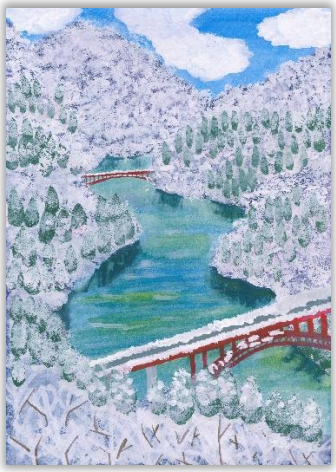
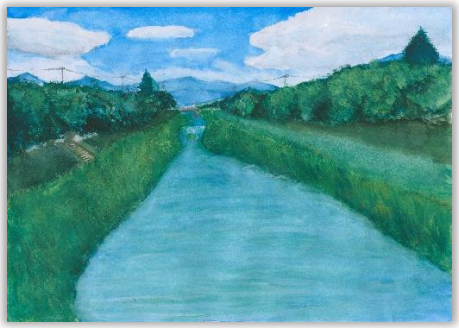
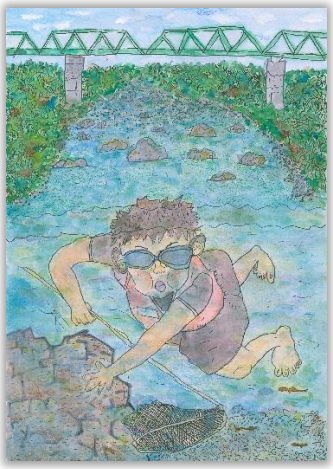
	作品	講評
1 黒部川（低学年　金賞）	 「楽しかった魚のつかみどり」 黒部市立たかせ小３年 古賀　怜史　さん	つかみどったばかりのヤマメと両手をクローズアップした大胆な構図が、目を引きます。 クレヨンと水彩絵具を使い分けて、川の水や背景の山の質感を効果的に表しています。光を反射してキラキラ複雑な輝きを放つヤマメの体表や、魚をつかむ手が水にぬれて光っているさまが、いろいろな色を塗り重ねることで見事に表現されています。 魚をつかみとれた喜びと楽しさが、画面全体から伝わってくる絵画です。
2 黒部川（高学年　金賞）	 「思い出の川」 富山大学教育学部附属小４年 石田　美月　さん	黒部峡谷を走るトロッコ電車を描いた一枚です。緑に映える赤い橋は、有名な新山彦橋でしょう、橋の特徴がよくとらえられています。 雄大な山の緑は柔らかいタッチで表現されており、明るく澄んだ印象を与えています。 峡谷を流れるエメラルドグリーンの川の水も透明感があり、水辺の涼しい空気感が上手に出ています。 優しい緑と鮮やかな赤い橋が印象的な、色彩の美しい一枚です。
3 常願寺川（低学年　金賞）	 「ぼくのすきな立山線と川」 富山大学教育学部附属小２年 小原　晴大　さん	常願寺川橋梁を黄色と緑色のかぼちゃ電車が走り抜けています。立山を背景にした、県民にはおなじみの、富山が誇る美しい景色を切り取って描いた作品です。手前の川の勢いある水流は長めのストロークで、石がゴロゴロ転がっている河川敷は短いタッチで、といったふうに筆遣いを工夫して、ものの特徴が良く表れるように描いています。 薄雲がかかる冠雪の立山の山並みにかぼちゃ電車の鮮やかな黄色が映える、明るい雰囲気の作品です。

	作品	講評
4 常願寺川（高学年　金賞）	 「川の中をのぞいたら」 上市町立相ノ木小５年 森　陽汰　さん	ゴーグルをつけて川の中をのぞいたら、ヤマメやカニなど、たくさんの生きものが行き交う水中の世界が広がっていた！という驚きとわくわく感が画面から伝わってくる作品です。 水面に半ばまで浸けた顔、水中をじっと見つめる大きな目。川底に両手をついて、身を乗り出すように水中世界を観察する構図は大胆で力強く、見る人をひきつける魅力があります。 ちぎった新聞紙をコラージュして川底の石や岩を表現している点も、工夫が凝らされています。また、カニやザリガニの赤、水の青、きらめく魚の体表の黄色や緑、Ｔシャツの袖の紫、といった色彩表現の豊かさも見事です。
5 神通川（低学年　金賞）	 「わたしのうんが」 富山市立奥田小２年 國香　琴巴　さん	富岩運河環水公園から富山県美術館（通称TAD）の方向を見た風景が描かれています。運河の上をさざなみを立てながら移動しているのは、富岩水上ラインの旅客船や電気ボートでしょう。運河の向こうにある美術館の屋上に見えるのは、「オノマトペの屋上」に設置された遊具でしょうか。美術館のロゴマークの一部（富山湾を表す濃いブルーで描かれた文字「D」）も見えます。 水と緑があふれる富山の美しい公園が、明るく爽やかな色調で表されています。船や建物の特徴もよくとらえられていて、作者がよく目にしている、お気に入りの風景であることが伝わってきます。

	作品	講評
6　神通川（高学年　金賞）	 「神通川の景色」 富山市立呉羽小４年 佐山（さやま）　由佳（よりか）　さん	富山大橋から神通川を見た風景です。とてもしっかりした構図で神通大橋とその奥の橋の重なりや遠くの建物も丁寧に描かれています。川べりや中洲の緑が深く生い茂る様子や、川の流れが石にあたってさざなみだつ様子もよく工夫されていて技術力の高さを感じさせます。澄み切った青空が夏の空気を表していて、神通川を爽やかに表現した作品になっています。
7　庄川（低学年　金賞）	 「川とブルーインパルス」 射水市立新湊放生津小３年 片口（かたぐち）　藍里（あいり）　さん	鉄橋をわたるドラえもんトラムとブルーインパルスがとても印象に残る作品です。しっかりしたコンクリートの橋脚が鉄橋を支えているのでトラムはとても走りやすそうです。水に映る橋の影が緑色なのも橋の色を映していてよく見て描かれているなと感じました。水のきらめきも頑張って描かれています。青空を背景に白煙をなびかせて飛来するブルーインパルスが爽やかで今年の夏を象徴する作品になっています。

	作品	講評
8　庄川（高学年　金賞）	 「冬の川」 富山市立五福小５年 柏島　彩乃　さん	庄川峡の冬を描いた作品です。冬の時期は雨や雪が多く、晴れる日がほとんどないくらい少ないですが、たまに晴れると本当にきれいな景色が見られます。山々に積もる雪は筆に含ませる絵具の水分を少なめに渇いた筆使いで表現し、木々も濃い緑で描いたあとに筆の穂先を散らして雪が描かれていて、雪山の表現にとても細かい工夫が見られます。庄川の色も何色も重ねられて寒い時期の水の感じが良く出ています。雪景色の中の赤い橋が画面を引き立たせて印象に残る作品です。
9　小矢部川（低学年　金賞）	 「小矢部川と海のつながり」 高岡市立木津小３年 中出　実杜　さん	「はじめて川と海がつながっているところを見て川が海に流れているのかと思ったけど波が向かってるように見えてきれいだった」というコメントがありましたが、潮が満ちてくるとそのようにも見えるし、実際に海の水と川の水が混じり合う汽水域の様子をとてもよく観察されていると思いました。地球の丸さを感じる水平線や河口付近の地形の描き方、複雑な水の色や波の形を青や緑などの色の重なりで表す表現の工夫もすばらしいです。大伴家持の句が似合う素敵な作品になっています。

	作品	講評
10 小矢部川（高学年　金賞）	 「静かな小矢部川」 南砺市立福野小６年 池田　雄大　さん	福光の橋から見た小矢部川の風景です。一点透視図法の奥行を感じさせる構図ですが「遠近感が出るよう試行錯誤した」とコメントにあるように、遠くの山並みが青みを帯びて手前の緑地が濃く何層にも塗り重ねられており色でも遠近が工夫されています。夏草が勢いよく生い茂る様子と川の水面が凪いで静かな様子の対比が際立ち、穏やかな夏の日を感じられる作品です。
11 審査員特別賞	 「夕ぐれのいたち川」 富山市立柳町小５年 岩田　葉介　さん	富山市の街中を流れるいたち川の夕ぐれを描いた作品です。日が沈みあたりが暗くなり始めた時間帯の曖昧な空の色を淡い色使いでうまくとらえています。夕ぐれの時間帯は意外に短く、空の色も刻一刻と変化し、いつの間にか夜へ移行していきますが、夕日が沈んだ瞬間の空の色と青みの残る空の色の合間で雲の色を工夫して表現されています。湾曲していく川の流れが空の色を映して夕ぐれの時間帯を強調しています。空と水面の色合いが印象的な作品です。

	作品	講評
12 審査員特別賞	 「川 探検中！！」 たてやまちょうりつたてやまほくぶ 立山町立立山北部小６年 やまだ　しゅうすけ 山田　柊介　さん	常願寺川を、網を片手に探検している様子が表されています。ゴーグルをつけて川を泳ぎながら、網を構えて小さな魚をすくおうとしている少年は、空気をいっぱいに吸って水中で息を止めているところなのでしょうか。膨らんだ頬と引き結んだ口がユニークです。 身に着けたフローティングベスト、水の中で膨らむズボン、流されないように岩をつかむピンと張った左手、植物が生い茂る河川敷、川にかかる橋等々、細部もよく特徴をとらえて丁寧に描かれています。デッサンの巧みさもさることながら、豊かな緑色のヴァリエーションと、繊細で透明感のある色彩表現もとても魅力的な作品です。